私は将来の夢と、愛農高校に来た理由を話します。私の将来の夢は調理師になることです。調理師と言ってもただの調理師ではありません。国家資格である管理栄養士の免許を取得して、お客さんの健康に少しでもよりそっていける特別な調理師になりたいと考えています。

　私のお母さんはとても料理が上手で、とてもおいしいです。私のおばあちゃんのご飯も本当においしくて自分のお店を持っている程です。私はそんな家庭で育っていくうちに、いつか自分も家庭を持った時にこんなにおいしい料理を作れるようになれるか心配で料理の勉強をしたいと思いました。

　家で料理を作り始めて、家族や友人に自分の作った料理を食べてもらうようになりました。その時に、家族や友人から「おいしい」と言葉をもらいました。私は小さいころから、お母さんやおばあちゃんなどたくさんの人の料理を食べたときに「幸せ」を感じていました。料理は自分がそうだったように、食べた人が幸せになるものだと思っていました。ですが、食べた人が幸せを感じた時に自分も幸せを感じられることに気が付きました。不安から始めた料理でしたが、いつの日か調理師になることが自分の夢になっていました。自分の料理でたくさんの人に自分が感じた「幸せ」を感じてもらえるそんな調理師になりたいです。

　私はとても夢が大きいです。調理師と言っても、食事だけではなくスイーツやパンなどたくさんのカテゴリーを扱う店を持ちたいと考えています。ですが、そうして夢がふくらむと同時に不安も大きくなります。例えば料理だけではなく、スイーツやパンもしたいと考えるなら、専門学校で勉強しなければなりません。でも一度にそれらのことが学べるわけでもなく、たくさんの時間が必要になります。また、自分のお店を持ちたいと考えるとたくさんお金がかかります。

　私は保育園のころからこの夢を持っていました。そして高校生になった今でも追い続けているこの夢を断念してしまう事、自分から諦めてしまう事がとても怖いです。自分には料理をする才能があるわけでもなく、大ざっぱでどんくさい性格なのでどちらかと言ったら向いていない、という事も自分でよく理解しています。自分の将来の夢はむずかしいこと。そう分かっているから、夢を語るのは好きだけどいつも不安になります。

　ではなぜ私が愛農に来ることにしたのか、それは中学校の後半の事です。自分の進路を考えている時とても不安でした。愛農のことはおじと母が卒業生だったので知ってはいましたが、正直自分がこの学校に入学するなんて考えもしませんでした。でも体験入学に行った後、周りの人から何がしたいのかと聞かれた時、私は愛農に行きたいと答えました。

　こんなに夢の事をいつも考えているのに、中学校の延長のような進路の選択をして、夢への道を自分で止めるようなことはしたくありませんでした。この学校なら、自分の将来の夢がどれだけむずかしくても、それに立ち向かっていくための自信がつけられると考えました。

　寮生活を通して、自立することや人との関わり方を学べます。有機農業で人にも環境にも良い農業が学べて、何よりこの学校では命や食の大切さが学べると思ったからです。調理師になるには食べ物のことを知り、学ぶことが大切。食べ物のことを学ぶには農業を知ることが大切だと考えました。だから私は愛農に来ることにしました。

　ここで過ごし始めて１か月と少しが経ちました。私が１年生畑で育てている野菜の中で、種から植えたキュウリがいまだに１つも芽を出しません。野菜１つ育てるのにもとても苦労があるんだと感じさせられました。そんな収穫された野菜は生野菜のまま売られる場合や、料理人の手に渡って料理として売られることもあります。その中で自分がしたいと思っているのは料理人という立場です。でも、料理を食べた消費者がその食材をとてもおいしいと思ったとしても、おいしかったと言われるのはいつも料理人だと思います。そう考えると自分のしたい職業というのはとてもいい立場に思えます。

　ですが、もともといい食材を作って下さったのは農家さんです。そんなことを考えると農家さんの気持ちはどうなんだろうと、少し不思議な気持ちになります。自分がしたように大変な思いをして苦労をかけて作っても、多くの消費者の人たちは手にした食材がどこで作られたものかも知らないでその食材を買っています。私はもっと、その料理の食材１つ１つすべてに関わった人を少しでも知ってもらいたいと思っています。その上で食べてもらうことで、その料理１品でどれだけたくさんの人が幸せになれるのだろうと思います。

　食材も自分で作ることも大切だと考えるようになりました。自分が料理するとき、食べるとき、自分で作っても１人では無理で、たくさんの人がいて、自分が料理できること、夢を持てることを忘れずに大切にしていきたいと思います。